

リースの有効活用の推進について（案）

公共施設の整備、維持管理等に際しては、リースを導入することにより、民間資金の活用、事業コストの削減及び質の高いサービスの提供を目指すことが可能である。リースの具体的なメリットとして、初期費用の軽減と財政負担の平準化が図られることに加え、場合により供用開始までの期間短縮、メンテナンスも含めた維持管理、事務量の軽減、緊急時や状況変化への柔軟な対応が可能となることが挙げられる。

こうしたことから地方自治体においては、住宅開発や働き方の多様化等の社会的な要請による、公立学校の校舎増築や放課後児童クラブの整備等において、リースを導入している事例がある。しかしながら、これらリースについては、国庫補助金等の対象とされていないため、必ずしも積極的な活用が図られているとは言い難い。

については、地方自治体による施設・設備の整備にあたり、それぞれに適した整備手法を選択することが可能となるよう、次の事項について要望する。

リースの導入について、整備手法の一つとして積極的な選択が可能となるよう、他の整備手法による場合と同様に財政支援を行うこと

平成29年 月 日

内閣府特命担当大臣（少子化対策）

	松山 政司 様
財務大臣	麻生 太郎 様
文部科学大臣	林 芳正 様

九都県市首脳会議

座長	相模原市長	加山俊夫
	埼玉県知事	上田清司
	千葉県知事	森田健作
	東京都知事	小池百合子
	神奈川県知事	黒岩祐治
	横浜市長	林文子
	川崎市長	福田紀彦
	千葉市長	熊谷俊人
	さいたま市長	清水勇人

リースの有効活用の推進について

1 リースを活用するメリット

- ① 初期費用の軽減
- ② 財政負担の平準化

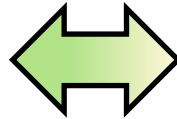
場合によっては…

- ③ 供用開始までの期間短縮（工期の縮減）
- ④ メンテナンスも含めた維持管理
- ⑤ 事務量の軽減
- ⑥ 緊急時や状況の変化への柔軟な対応
（使用予定期間にあわせてリース期間を設定可能）

2 提案の背景

課題例1：緊急性のある施設整備

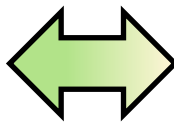
○公立学校の校舎増築、
放課後児童クラブの整備等



- 緊急で対応をすべき案件だが、初期費用が高む
- 長期的には、児童・生徒数が減少する

課題例2：設備等の一括整備

○学校のエアコンの整備



- 一度に大量整備をしたいが、初期費用が高む
- メンテナンスにかかる負担が増加する

事例は自治体により様々だが…
国庫補助金等の対象外

積極的な活用が図られているとは言い難い状況

3 有効活用の事例

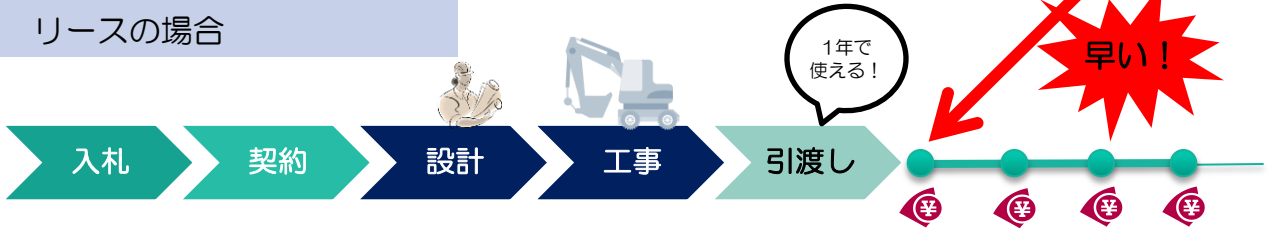
千葉市/放課後児童クラブ（子どもルーム）整備

メリット1：供用開始までの期間短縮（工期の縮減）

A 自治体が直接工事する場合



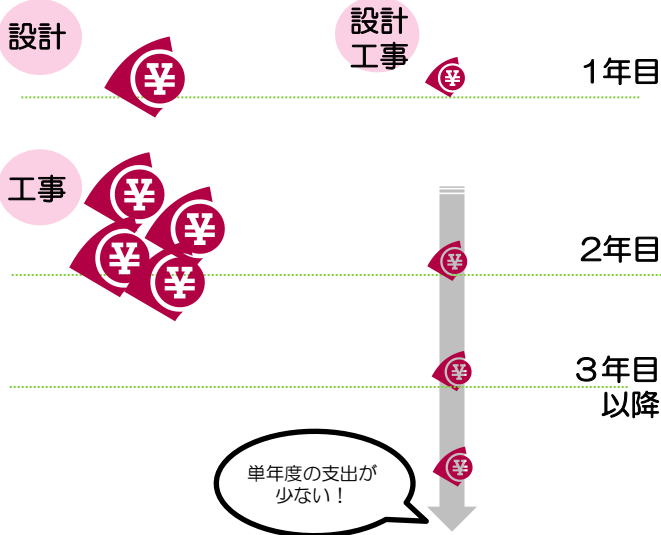
B リースの場合



メリット2：財政負担の平準化

A 直接工事

B リース



類似案件の整備事例での比較

(金額はすべて消費税抜き)

	A 直接工事	B リース
事例	ルーム I	ルーム II
施設面積 (㎡)	147.6	139
設計費 (千円)	3,000	40,000
工事費 (千円)	46,000	
計 (千円)	49,000	40,000
ア 総事業費※1	54,000	41,000
イ 国費 (2/3) ※2	17,000	—
ア-イ	37,000	41,000
工期	【H16】設計 【H17.7~H18.1】工事	【H26.11~H27.3】設計・工事

※1 総事業費は、建設物価等の条件設定を同時点に合わせ、想定して算出しています。

※2 国費は建設規模に応じて異なるが、ここでは本事例程度の整備を行う場合の、平成29年時点の基準額 (25,713千円) の2/3にあたる金額を参考としています。

リースの有効活用により、
社会的ニーズに応じた柔軟な対応が可能に！

4 要望事項

リースの導入について、整備手法の一つとして積極的な選択が可能となるよう、他の整備手法による場合と同様に財政支援を行うこと